

(別紙5)

整理番号 2020P-093
補助事業名 2020年度 健診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 甲府市医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

公益の増進を図るため、行政が目指す地域住民の健康管理の確保と早期における疾病等の発見及び予防対策への貢献を目的とし、「JKAオートレース検診車の整備補助事業」の導入を受け高精度な健診車両の運用を図り、結果、健康・医療に関する普及啓発事業の向上を目指す。

(2) 実施内容

胃部集団検診用デジタルX線システム健診車 1台

(URL) <https://hojo.keirin-autorace.or.jp/enterprise/index.html>



検診車 右側面



検診車 後方



遠隔操作卓・DRモニター・リモートパネル



透視撮影台

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

永年に亘り行政より委託を受け行っている「地域住民健診」の一環として実施する検診車による「胃がん健診」については、移動しての方式であることから住民が受検し易くニーズも高くあったが、近年の医療機器類の発展からその精度が大幅に改善されてきており、今般の事業実施に当たり、胃部検診結果の精度の向上、画像診断時間の短縮、受検者への放射線量の軽減等々多岐に亘りその効果が期待できる。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

甲府市医師会報誌

(URL) <https://www.ki-kenkou.com/>

(6)

甲府市医師会報

令和3年5月1日

■ 新検診車導入報告

健診・検査センター

所長 田 中 均

この度(令和3年3月12日)、待望の胃部レントゲン撮影装置搭載の新しい検診車が、JKAの助成を受けて甲府市医師会健診・検査センター健康管理部に納入されました。当日、住吉神社にてお祝いと安全祈願を受け、3月14日に大月での事業所検診に初出勤しました。

新検診車は、間接フィルムの製造中止を受けて全てデジタル化された最新鋭の装置を搭載したバスで、受診者の安全確保のための監視モニターの設置や出入りしやすい広い通路並びに独立した音響スペースの確保など、安全・安心を最優先した快適な空間となり、さらに椅子やカーテン類などの装備品は感染防止のためアルコール類の薬品で消毒できる素材に統一しました。

胃部レントゲン撮影にはバリウムや水など多くの消耗品や備品が必要となるため十分な収納スペースを確保し、かつ働く職員の職場環境の改善も考慮した余裕のある設計となっております。

胃部レントゲン検査は年間約3,000人強が受診しますが、同じ会場に胸部単純レントゲン検診車やマンモグラフィ検診車が同時に駐車する場合があります。受診者が迷わないよう車体の色を鮮やかな緑色とし、青色の胸部レントゲン車と黄色のマンモグラフィ車とが一目で区別出来るようにしました。

最新鋭で快適な検診車を配備していただき、受診者が気持ち良く検査を受けていただけるよう職員一同一層の努力をして参る所存であります。



(別紙5)

団 体 名： 一般社団法人 甲府市医師会 (イッパ°ンシヤダ°ンホウジン コウフシイカイ)

住 所： 〒400-0031

山梨県甲府市丸の内二丁目37番7号

代 表 者： 会長 星野 和實 (カイヤウ ホシノ カズミ)

担 当 部 署： 本会事務局 (ホウカイジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 野村 正志 (ジムキョクチャウ ノムラ マサシ)

電 話 番 号： 055-226-3618

F A X： 055-226-0073

E - m a i l： kofuishi@eps4.comlink.ne.jp

U R L： <http://www.kokumon.co.jp/kofuishi/>